

五二新聞

06.5.No109
発行市岡日武
発行所

春

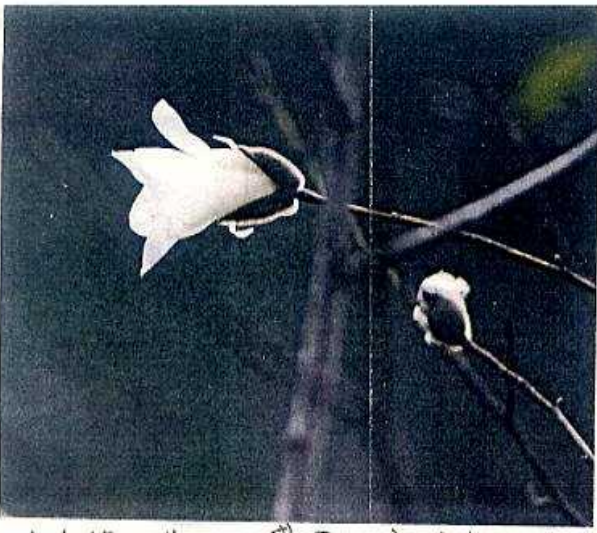
いつきに

おとし

4月になつて、春の足は遠くへなつて、なかなかに暖かくなりませんか。
4月下旬にはつて、ヨーロッパの山々は白くなつてしまつて、ヨーロッパの高文で、薄氷が張つたりと、雪が芽も芽が出て、稲の穂があらりと、長い長い四月で、いつきに、色彩が豊かになり、ミッドバツツや、梅が咲きはじめ、足速に走りぬけ、もう、夏目、木々も様々な植物も、花

駆

ニリンソウ



おかげで、山菜も多く食べれるようになった。りましだが、暖かいはとあつた。急ぎに、奥くはつたりの、練りかえり、少々固く、つとまつたりと、いつと違つた季節を感心してしまいました。
祖谷村の共同農場へと足を運び、土寄せや肥料やりと、汗を流して、さました。皆より、少し遅い山菜、草を植えたい。かげの穂にもやられ



けのぼる

る事なく芽を出してはじめてました。
これから、底や様との知恵くらへ、七月月中旬頃の収穫をみかえることになりまふ。
今から、撃ちみかす。

また、四月には、祖谷村の村民になつて下つた人が、コナラ山に来る下つり、観光では目にする事のはい、祖谷山を案内、お昼は、村民手づくりの鮎魚交流を深めたりしました。
その他にも、めんめ製の体験を、徳島市内、城内高校の生徒さんを利用し、パン作り、手打そば、ソーセージ作り、竹トコボ、かぶらのカゴ作りと、一日中祖谷を満喫して頂きました。
今どきの高校生は、熱中ぶりに、こらうも、夢中にお手伝い出来た一日でした。
その山も、長い長い四月が、あつた過ぎ去り、五月になつと、気温はわりと高く、人々も動きが活発になつて、何かが変わりそうなきがしひいど、ありません。
新しい市長さんも決まり、今まどと違つた、ふる里を作り、新しいふる里、づくりもはひまるか、知れません。が、それの、これ私なら、一人ひとりの、気が、大かぶ

雨にもまけな 剣山へ

三山嶺へ

東祖谷の折ノ瀬小、菅生小の春の登山は、五月二日に決行されました。
生憎、この日は雨とよつ。
それこそ、菅生小は三山嶺へ折ノ瀬小は剣山へ登りました。
折ノ瀬小は、次郎塚の予定でしたが、雨で変更し、剣山。
時間とおそろし、タイムをこつター時より登り、頂上ヒュッテでお昼を食べました。
菅生小は、いやくの、郷より、四時内さかかて、雨の中、三山嶺に登つてきました。晴れの日とは違つた経験と、思い出深いものだったことと、ごきよう。

